

5年生 下田移動教室を終えて

5年生は、6月29日～7月1日の2泊3日で、静岡県下田市に移動教室に行ってきました。



- 1 体験活動に前向きに取り組みました。 「磯遊び いろんな生き物 隠れてる」
磯での観察では様々なヒトデ、ナマコなどを見つけて観察活動が活気づきました。

友達に「この生き物は何？」と聞くと、「これはアオウミウシじゃない。」と言ってとってくれました。アオウミウシは珍しい生き物と聞いたので嬉しくなりました。色は青で、黄色と黒の丸い模様がありました。タコみたいな吸盤がついていて、後ろの方には花のようなものがついていて何か気になりました。

観察眼を発揮しながら学習を深める姿が随所で見られました。

- 2 友達のよさを見つけました。 「夏の夜 笑顔いっぱい レクレーション」

疲れて転びそうになったとき、友達が「大丈夫？」と聞いてくれてうれしくなりました。自由時間に UNO をして、盛り上がってうれしくなりました。うるさくなっていたときに、レク係が真剣に「静かにしてください。」と言っていて、すごいなと思いました。

具合が悪い子がいるとグループ活動を中断して、心配そうに寄り添う姿もありました。友達のよさを見つけながら生活していました。他にも、調べ学習の成果をバスで交流したり、お土産への思いを交流したりしながらバスの中でも友達のいいところを学び合いました。

- 3 責任感を発揮しました

一人一役の係活動を通して、自分なりの責任感と達成感を感じる機会になりました。

私はレク係でジェスチャー伝言ゲームを担当しました。自分の遊びも上手にできましたが、みんなの遊びがとても面白かったです。短い時間だったけれども、がんばって準備したので喜んでもらえてよかったです。

私は、児童代表の言葉を言いました。とても緊張しましたが、いつもつまってしまうところも本番では間違えずに言えてよかったです。

- 4 これからに向けて

「夏の海 友と黒船 波静か」

「夏の海 目がすいこまれてく 爪木崎」

「アジサイと海と波との伴奏だ」

黒船に乗ってペリーの時代を思いながら波を見つめたり、海の青さ・夕日の赤に心を動かしたり、大海原の隅に咲くあじさいにも心を動かしたりする素晴らしい感性を子供たちはもっています。

一方で、5年生の6月という早い時期の実施だったこともあり、宿舎でのマナーについて指導することもありました。2学期の学習、生活に移動教室の経験を生かせるように指導していきます。

移動教室に当たっては、抗体検査等の協力もいただいた、皆様のご協力に感謝しております。



「6年生 武石移動教室 感想」9月5日～7日

上田城の真田石は、思ったよりも大きくてびっくりしました。黒曜石の体験で勾玉^{まが}を作ったとき、内側を丸くするのが難しかったです。群馬県立自然史博物館などもふくめて、しれたことがたくさんあったので、良い体験になったと思います。

初めての移動教室で、2週間前からもうワクワクしてたまりませんでした。体育館でのレクリエーションがすごく楽しかったです。武石観光センターで家族の分のおかしを買い、みんなでおそろいのキーホルダーを買って嬉しかったです。本当は帰りたくないと思いました。

車山では、リフトに乗って霧の中に入っていくのがワクワクして楽しかったです。下る時は石などがデコボコしていて、転ばないか歩いていて心配でした。群馬県立自然史博物館では、恐竜の絶滅など、生命の謎に迫る秘話もたくさん知れました。

印象に残ったところは、黒曜石体験ミュージアムで、黒曜石の歴史を学ぶだけでなく、黒曜石を削ってキーホルダーを作りました。3日間、色々な所で自然に触れて学ぶことができました。最後バスを降りるとき、「やっと帰ってきた」という気持ちと「もっといたかった」という気持ちがこみあげてきました。

車山にリフトで登った時、きりで前が全く見えず、風もすごかったので怖かったです。でも、ふもとの八島ヶ原湿原では、リンドウというきれいな紫色の花や、ススキの海が見られました。湿原からは車山の山頂にある気象レーダーが見えて印象に残りました。

初めての移動教室だったけれど、宿舎では生活班のみんなと仲良くできてよかったです。今まで家以外で、自分1人で泊まることがなかったので、寝られるか心配していたけれど、昼はたくさん歩いたのでくたくたで、すぐに寝られました。

